

第14次 実施計画シート兼初期診断書(継続用)

事務事業の概要	事務事業名	トラスト協会運営助成事業		整理No.	8	
	担当課	環境課	事業別	<input checked="" type="checkbox"/> 非建設事業 <input type="checkbox"/> 建設事業	作成年度	平成20年度
	体系	大-中-小	I-1-(1)大切な自然			
	施策のあらまし	② 市民トラスト運動の推進		ページ	23	
	マニフェスト	<input type="checkbox"/> 有り <input checked="" type="checkbox"/> 無し				
	実施期間	平成 8 年度～ (29) 年度 (— 年間)				
根拠法令要綱等	名称				<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	
	市の実施義務	<input type="checkbox"/> 義務規定 <input type="checkbox"/> 努力規定 <input type="checkbox"/> 任意規定 <input checked="" type="checkbox"/> その他 ()				
実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他 ()					

目的(何のために)	市民の貴重な財産である自然環境を保全し、後世に継承するための市民トラスト運動を推進するために、市が設立したトラスト協会に対し、助成を行うもの。	対象(何・誰を対象に)	財団法人おおのじょう緑のトラスト協会
手段(どのような事業を実施して)	トラスト協会に対する助成金の交付	成果(どのような成果を期待するか)	自然環境保全のための啓発活動、ボランティアなどの人材育成などの事業、調査研究、緑地などの維持管理などの事業を通して、市全体で自然環境を守っていく機運が高まること。

事業環境	筑紫地区等近隣自治体との比較(実施状況、サービス水準の平均値、本市の順位など)	<input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 同程度 <input type="checkbox"/> 低い	近隣自治体にはトラスト協会がない。
他課等の関連事業	課名		
	事業名		

視点別評価	評価項目	1次		2次	
		1次	選択理由、特記事項等	2次	選択理由、特記事項等
市関与の妥当性	①市民等のニーズ	2	市が設立した団体であり、環境基本計画で市民トラスト運動を推進しており、市の関与は妥当である。	2	法律、条例で義務付けられているものではない。
	②法的な義務性	3		2	
	③代替性	3		3	
	合計(9点中)	8		7	
手段・内容の適切さ	①担い手の妥当性	3	担い手である会員からは、年会費を徴収している。活動については、トラスト協会が企画・実施していることから、市が直接行うより、機動性に富み、市民の参加が見込めると考えられる。	3	協会の独立性を確立するためには、会費の徴収のみならず、企業に協賛金を募るなど他の方法も模索すべきである。
	②受益者負担	2		2	
	③効率性	2		2	
	合計(9点中)	7		7	
有効性	①目的の達成状況	3	自然環境保護と共に、地球温暖化に対する有効な政策としての森林の二酸化炭素吸収源確保の取り組みを助け、市民啓発に十分貢献している。会員数については、最近、横ばいであることから、再度募集に力を入れる必要がある。	3	設立当初の協会の意義・役割と、今日の役割とで大きな差異が発生していることから、組織の位置づけや形態を改めて検討する必要がある。また、市民への周知を更に進め、会員数の増加だけでなく、イベント等への参加を通じて市民が関心を示すよう力を入れるべきである。
	②成果の状況	2		1	
	③上位施策への貢献度	3		2	
	合計(9点中)	8		6	

診断結果	担当課長所見
<input type="checkbox"/> 拡大・重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しの上で継続する <input type="checkbox"/> 統合する(検討分も含む) <input type="checkbox"/> 縮小する(検討分も含む) <input type="checkbox"/> 廃止・休止する <input type="checkbox"/> 終了	<p>市内に残る森林資源の保護・管理と自然保護活動の啓発に十分に寄与していると考えられる。</p> <p>課題として、トラスト基金の運用方法や、企業等からの寄付金を募る等、課題点・改善点もある。これらについて、公益法人に関する問題とあわせて、全体の体系を再点検する必要がある。</p>
改善点及び改善を実現するための条件	

診断結果	診断理由等	事業費	人員
<input type="checkbox"/> 拡大・重点化する <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しの上で継続する <input type="checkbox"/> 統合する(検討分も含む) <input checked="" type="checkbox"/> 縮小する(検討分も含む) <input type="checkbox"/> 廃止・休止する <input type="checkbox"/> 終了	<p>現状のままでは、将来にわたって永続的に、市から協会への助成を継続し続けなければならないことから、公益認定の動向も考慮しながら、協会位置づけや役割を改めて定義直し、その内容に基づき、今後とも財団法人(公益法人)として活動するのか、それとも一般法人(NPO法人)として活動するかを議論し、財政的にも自立した組織に変えていく必要がある。NPO法人に変更する場合には、財団法人の基本財産2億円を活動の原資として活用できる。</p> <p>また、市の条例「おおのじょう緑のトラスト基金」を廃止し、市民がトラスト協会に直接寄付できる制度への見直しが望ましい。</p>	<input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 維持 <input checked="" type="checkbox"/> 削減 <input type="checkbox"/> なし	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 維持 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> なし